

共生・協働の 地域社会づくり

NPO法人ぷれでお
TEL 0996 (72) 0607

図書館を活かした地域交流・地域再生を目指して

「ぷれでお」は、阿久根市立図書館の管理・運営を行っているNPO法人です。理事長の川崎さんは、もともとは阿久根市立図書館の司書でしたが、図書館の民間委託に際し、「本の専門家である自分たちで図書館を運営すれば、その機能を有効に活用していけるのではないか」という思いが芽生え、平成17年にNPO法人を設立しました。

「ぷれでお」とは、「pleasure(楽しみ、喜び)」と「ででお(鹿児島弁で「出会う」)」から作った造語です。楽しい、おもしろい人やものが集い、交流することができる場でありたいとの思いを込めています。図書館では第1号の指定管理者として、阿久根市立図書館の管理・運営を受託し、市民に親しまれる図書館づくりのため、より良いサービスの提供に努めてきました。受託してから11年目ですが、利用者数も伸びてきています。

「ぷれでお」は、図書館を拠点として、さまざまな取り組みを行っています。教育向上・文化財の保存伝承の観点から、



夏休み地域イベントでの紙芝居

平成22年から阿久根七不思議紙芝居の作成に着手し、阿久根に伝わる7つの民話を紙芝居化し、地域の方々にはわかりやすく語り伝えていきます。

また、阿久根市の活性化のため、平成23年には鹿児島大学と協働で「莫祢(あぐね)ゴールド創世塾」を開設し、郷土の歴史や文化などを語り伝えることのできる、「阿久根語りべ」を養成しました。地域の高齢者の豊富な知恵と経験や新しい未来を作り出す子どもたちの創造する力、これらを生かし、育て、輝かせるために、この講座を終了した14人のメンバーを、幼稚園や小中学校、高齢者が集ういきいきサロンなどへ派遣し、阿久根七不思議紙芝居や、郷土の物語、絵本などの読み聞かせ活動を行っています。平成26年度の派遣回数は120回に及び、地域文化の伝承・醸成や子ども達の健全育成、高齢者のいき

がづくりに貢献しています。さらに、阿久根名産のポインタンを活用した特産品づくりや、地域やホテルなどと連携して知



いきいきサロンでの紙芝居

られざる名所を巡る散策ルートの開発にも取り組み、観光振興にも寄与しています。



阿久根七不思議紙芝居

代表者からひとこと



かわさき てつし
理事長の川崎 徹志さん

出会う皆さまが楽しく笑顔になれるような、また地域のお役に立てるような活動をこれからも展開していきます。

こうした熱意のある取り組みが評価され、平成28年2月には県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体として、NPO部門の奨励賞を受賞しました。

NPO法人ぷれでおは、これからも、図書館を拠点として、地域のさまざまな機関・団体などと交流・連携し、子どもから高齢者まで市民の生涯学習の推進や、地域の活性化のために取り組んでいきます。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関する問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。